

施設番号	66-0792
施設名	愛隣シャローム保育園
施設所在地	江東区枝川 3 - 6 - 1 5
法人名	社会福祉法人 深川愛隣学園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- 屋上に畑を作ってみよう！

<テーマの設定理由>

- 園の屋上に手入れをしていない花壇があり、そこを畑にして有効活用できないかとの声があった。雑草が沢山生えていて土の深さも浅いので、土に興味を持った子ども達と一緒に雑草を抜いたり、土を移動させて夏野菜やさつまいも等が育てられるちょっとした畑を作る事を目指す。

2. 活動スケジュール

- 11月～、雑草抜き、3回／各1時間、3～5歳児、クラス毎に活動を行う。
- 2月、チューリップの球根植え、1回／1時間、5歳児

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- シャベル（人数分）、ビニール袋（靴が汚れないように履く）、ごみ箱、すのこマット

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 長年ほったらかしにされ雑草が生い茂っている土をシャベルで掘り、雑草を抜いていく。
- テントウムシなど、虫や幼虫を発見したりすることで、思わぬ出会いを楽しむ。
- 雑草を取り除いた土を1か所に集め、今年は実験としてチューリップの球根を植えてみる。上手くいけば、来年度は野菜を育てる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 「ここに畑を作ろう！」と声をかけると、「おー！！」と張り切ってやろうとする姿が見られた。
- 広い花壇の雑草抜きを行った。虫や幼虫を発見したり遊びながら進めたことで、飽きることなく沢山の雑草を抜いてくれた。
- 虫を見つけると虫探しに夢中になる子もいれば、黙々と雑草を抜いていく子もいた。
- 「雑草が取れたら見せてね」「根っこも抜いちゃってね」
- 「草、取れたよ！」「これも捨てていいの？」「テントウムシ見つけたよ！」「幼虫いたよ！」「これ、なんの幼虫？」「根っこに土がついたままで捨てて良いの？」





5. 振り返り＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- 広い花壇の雑草取りだったが、思っていたよりも子ども達が飽きずに取り組んでくれて驚いた。
- 雑草抜きだけの活動だったが、園の屋上に畑を作ることを目指すことで、子どもたちがわくわくしながら意欲的に取り組んでいる姿が多く見られた。
- これまで土にかかわる活動をいくつか行ってきたので、土に触れることの楽しさがすでに心の中に染み渡っていて無理なく活動に入り込んでいけているように感じた。
- 雑草を抜いている姿を見た時に、褒めたり驚いたりする声掛けを心がけた。褒められて嬉しくなり、もっと頑張ろうという気持ちが芽生えていたと思う。
- チューリップが無事に咲いたので、来年度は野菜栽培に挑戦してみたいと思った。